

学習活動部会

1 活動方針

- ・家庭学習を中心に自主的、計画的に学習する児童生徒の育成
- ・家庭学習と授業との連携による多面的な学力支援の実施

2 活動内容

(1) 家庭学習トライウィークの実施

① 中学校のテスト期間に合わせた「家庭学習トライウィーク」の実施

中学校ブロック（地域）としての家庭学習習慣の定着を図る。ポスター、のぼり等により、家庭だけでなく地域へ取組を発信し、中学校ブロックとして取り組んでいることを強くアピールする。



② 家庭学習日記帳による記録

小学校において、自身の学習の記録（学習内容、学習時間）を記録し、トライウィーク終了時に自身の家庭学習について振り返り、さらに、保護者からの励ましの言葉や評価をもらう。

③ トライウィークの実施状況について、児童生徒及び保護者へ情報発信

取組状況を集約し、児童生徒に見本となるような自主学ノートを表示したり家庭学習の習慣の改善について発信したりすることで、意欲の向上をねらうとともに、自身の取組について振り返り、評価する機会とする。また、家庭学習に関わる点でも家庭が協働者であるということの啓発を図る。

<成果>

地域としての取組であることを強調し、取組の結果を発信していくことで、家庭における協力意欲の高まり、児童生徒の取組姿勢の改善が見られる。また、中学校定期テスト時のテスト勉強に取り組む姿勢が中学 1 年生の段階で培われている様子が見られる。

(2) 自学自習の習慣と手法の育成

① 家庭学習ノートの書き方の共通理解・指導

日付、めあて、ふりかえりの記載を小中で共通して指導。早い段階から目的意識をもって自主学習に取り組めるように指導する。

② 中学校ブロックとして「家庭学習のすすめ」の全家庭へ配付

9 ヶ年を見通した 自己実現のための家庭支援をテーマに小学 1 年生から中学 3 年生までの家庭学習の進め方と家庭での支援のポイントについて一覧として明記。取組の理解を促し、家庭での支援の強化を図る。

③ 児童用家庭学習の手引の作成

これまで家庭向けとなっていた家庭学習の手引に加え、より日常的に活用できる児童用家庭学習の手引「パワーアップノートシート」を配付し、小中間で共通して活用。

④家庭学習ノートの展示

手本となる家庭学習ノートを各校にて展示、さらに、中学生の家庭学習ノートのコピーあるいは実物を小学校でも展示し、家庭学習における目指すべき姿、将来像を明確にして、児童生徒自身が目指す将来イメージの形成を図る。

<成果>

進路実現へつなげる中学校3年間の家庭学習の充実につながった（中学校における、家庭学習時間30分以下の層の減少）。また、小学校から、発達段階に応じた形で、共通した方針のもと指導を行うことで、9年間を通した自学自習の習慣形成、環境づくりにつながりつつある（目的意識を持った家庭学習ノートの取組、学習環境整備の家庭協力）。



家庭学習ノートの書き方について小中で共有（ねらいやふりかえりの記入）

各学年のよくできている家庭学習ノートの見本とともに小学校では、中学生の家庭学習ノートを掲示

3 今後も活用できる内容

<自学自習の習慣形成に向けた取組の継続>

(1)家庭学習トライウィークの継続実施

家庭学習について小中の指導者全体が指導の共有を図り、保護者への啓発を図る機会と位置付ける。

(2)段階を踏んだ自学自習の習慣形成、手法の習得

それぞれの学年での家庭学習に関する指導事項を小中で共有し、9年間全体を通して自学自習の内容の充実を進められるようにする。

(3)協働者としての家庭との連携（小中通じて）

家庭学習の手引の配付と取組状況の情報発信を続けていく。

(4)家庭学習と授業のリンク

家庭学習と授業が補完関係となる指導を進める。

4 今後の研究課題

(1)課題を有する児童・生徒への効果的な家庭学習の手法の習得

(2)授業に結び付く自主学習の取組の充実

(3)取組と評価の長期的な検証と指導の軌道修正

(4) 予習指導の在り方

結良中学校 ブロック 家庭学習のすすめ

＜9カ年を見通した 自己実現のための学習スタイル＞

小学校

低学年 1・2年生

低学年だからこそ 家庭学習の習慣づけ！

家庭学習の時間のめやす

1年生、2年生 30分以上

- ・はじめに休む時間をしましょう。
- ・がくしゅうがおわったら、あすのじゆんをしましょう。
- ・どくしよをしましょう。

＜おうちでの支援のポイント＞

- ・テレビは消して学習させて下さい。
- ・最後までていねいに取り組めるように声を掛けて下さい。
- ・時間割を見て、明日の課題を一緒に確かめて下さい。

中学校

自己実現のために学習スタイルの確立を！

～効率よく、効果の高い学習の進め方を身に付けよう～

1年生 2年生

家庭学習（宿題・家庭学習ノート）の時間のめやす

1時間以上

- ・学校からの課題の次に復習、最後に予習を行いましょう。
- ・分からないことはそのままにせず、必ず先生に質問しよう。
- ・苦手の克服に向けて、何をすればよいか、自分で考えて（目的を持って）取り組もう。

＜家庭での支援のポイント＞

- ・宿題で忙しいとは思いますが、家庭学習習慣が切れないように、毎日必ず机に向かえるように励まして下さい。
- ・ゲーム、パソコン、携帯電話等、学習の妨げになるものについては、家庭での使用ルールを徹底しましょう。
- ・学校から配付される結良タイムス学習号に目を通し、学校の学習を筋道に家族で励ましてみましょう。

よりよい家庭学習の習慣化 自学自習の基礎

3年生

家庭学習（宿題・家庭学習ノート）の時間のめやす

4～7月：2時間以上、8月～3月：3時間以上

- ・受験に備えて、5教科バランスよく取り組もう。
- ・1週間サイクルで学習を振り返り、学習内容や方法を改善しよう。

＜家庭での支援のポイント＞

- ・将来の職業や高校進学について、自己決定できるように話し合う機会を持ちましょう。
- ・「疲れるとき」「忙しすぎる時期を過ぎないよう心がけましょう。
- ・ゲーム、パソコン、携帯電話等、学習の集中を妨げる環境は断固たる態度で改善させましょう。

児童用家庭学習ノートの手引

家庭学習ノート（5・6年生）

【学習をはじめる前に】

- ① 学習する場所のせいとんをしよう！
- ② ところでテレビを消したり、ゲームをしんだり、けいだい電話をさわたりしないよう壁中して学習できる環境をつくろう！

【ノートの書き方】

- ① はじめに【今日の日づけ（月/日）】を書く。
- ② 今日の【めやす】を書く。
- ③ 【感想（ふりかえり）】を書く。

【内容】

- 計算練習（ノートにして、書き合わせもする）。
- 算数の文章題作り（式・図・書きも書く）。
- 漢字の練習（どめ・はね・はらいなどに気をつけて、同じ部首の漢字集め、四字熟語集め等、やり方も工夫しながら）。
- ローマ字の練習（しっかり書けないと、中学の英語でこまります）。
- テストにもう一度チャレンジ（問題も答えずに効果倍増！）
- （前に行ったテストをもう一度やってみよう）。
- テスト勉強
 - ・まず教科書を読んで大切なところにラインを引こう。
 - ・1 国語は黒、2 国語は青、3 国語は赤で引いて、3 本のラインがあるところが重要なことが書いてあるところだ。
 - ・ラインが引かれたところの言葉や文をぬき書きして、矢印をしや記号を使って分かりやすくまとめていくと自分の頭に蓄えやすくなる。
- 社会科や理科に出てくる大事な言葉の説明やまとめ。
- ※社会の教科書の横書き（書き直し）だけでもこうあり。
- 理科のまとめ結果を整理する。（言葉だけでなく図も使う）。
- ふしぎに思ったことの調べ学習。
- 作図のれん習（コンパスや三角じようを渡って図形づくり）。

【ノートパワーアップのけつ！】

- その1 字や絵は、ていねいに書こう！
- その2 大切なところは赤えんぴつで書いて、おもしろいところを青えんぴつで書いて、分かりやすくしよう！
- その3 線はものさしで引こう！

- ・ノートは頭の整理のために使うもの、ノートをきれいにかざることでなく、どうしたら自分の頭の中で整理しやすいかを考えて、自分だけのオリジナルノートを作ろう。

家庭学習日記帳

自分の勉強の記録をふりかえろう () 年() 組 () 組

日付	曜日	学習した時間	内容	反省(口をついて)
6月27日	月	1	—	—
		2	—	—
		3	—	—
		4	—	—
		5	—	—
		6	—	—
		合計時間		
6月28日	火	1	—	—
		2	—	—
		3	—	—
		4	—	—
		5	—	—
		6	—	—
		合計時間		
6月29日	水	1	—	—
		2	—	—
		3	—	—
		4	—	—
		5	—	—
		6	—	—
		合計時間		

1週間の記録をふりかえって 2週間だけつづけて、めやすを持って取り組めたか、めやすを達成できたか等

あうちの人から

家庭学習日記帳(トライウィーク)

